

園長だより

No. 7

2024年5月24日

園長 澄川忠男

◆第1回「避難訓練」を実施しました。

昨日（23日）、今年度第一回の避難訓練を行いました。今回の目当ては、「非常ベルについて知ること」「ベルが鳴ったら先生のところに行って静かに待つこと」「放送を聞くこと」です。

小学校でも避難訓練を行います。「ベルが鳴ったら止まる（日頃の放送があっても止まる）」「放送を聞いて避難する場所を知る」「黙って避難する」「避難場所で並んで待つ」などを指導します。それに加えて、いっどこで起きるかわからないので、家族と話し合って避難する場所を決めておくことや、高学年では自分で命を守ることを考えて避難行動をすることも話します。

幼稚園では、自分で考えて避難することはとてもハードルが高いことなので、保護者や我々教職員が安全に避難させることが大切です。それをスモールステップで段階を追って子どもたちにも練習をさせます。

今回は、前述した3つの目当てで行いました。非常ベルを聞くことが初めての子どもたちは、きょとんとした表情でした。何度か経験した子どもたちの中には、いち早く先生のもとに駆け寄る子や、不安そうな表情を見せる子もいました。次に、非常ベルの説明や先生のところに行って静かに待つことを副園長が放送で話しました。放送は、担任のそばで、おしゃべりなしで一生懸命聞いていました。

今回の避難訓練は目当てを達成できたと思います。今回も含めて、年間9回の避難訓練を実施する予定です。その都度、様子をお伝えします。

◆ありがとうございます

園長だよりNo.6で「あいさつ」について書いたところ、私の気のせいではないと思いますが、朝の登園時にお子様の声掛けをしてくださる保護者の方が増えたように思います。ありがとうございます。

あいさつをご家庭でも意識していただき、私たちは園で意識して声掛けをしていきます。身につくまでには時間がかかる場合があります、気長に取り組んでいきたいですね。よろしく願いいたします。

◆すてきな子どもたち ありがとう

昨日、運動場のコンクリートを掘り出して取りました。子どもたちがいないときに作業していたのですが、昨日は子どもたちが少し運動場に残っている状態で作業してみました。予想通り、子どもたちは興味津々。すぐに周りに寄ってきて、何かしたくてたまりません。掘り起こしたあとの溝を埋めてもらうよう頼んだら、喜んでやってくれました。本園のおやくそくの一つ「すすんでお手伝い」が達成できていました。

